

グローバル人材を育成する**第九中学校のオリンピック・パラリンピック教育(概要)**

平成 28 年 6 月 20 日

足立区立第九中学校

基本的な考え方

子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となるかけがえのないレガシーを形成する（次の 4 つを視点とする）。

- 1 自ら目標をもって自己を肯定し、自らのベストを目指す意欲と態度
- 2 スポーツに親しみ、「知」・「徳」・「体」の調和の取れた成長
- 3 日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚
- 4 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献

都の推進の方向性

【4つのテーマ】

「**オリンピック・パラリンピックの精神**」「**スポーツ**」「**文化**」「**環境**」の 4 つのテーマで推進する。

※ オリンピック・パラリンピックは、世界を結ぶ平和の祭典でもある。

【4つのアクション】

オリンピック・パラリンピック教育を進めるに当たり、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」の 4 つの視点で取り組みを深めていく。

【留意点】

- ・ 英語を中心とするコミュニケーション能力の育成
- ・ 自尊感情や自己肯定感の向上
- ・ 体力・運動能力の向上
- ・ 「おもてなし」など貢献活動の推進
- ・ 障がい者理解と人権教育の充実 など

オリンピック・パラリンピック教育推進委員会

【目的】 世界最大のスポーツの祭典であるとともに、様々な人や文化を理解し交流する平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックを教材とした有効な教育の在り方を追究する。

【内容】 教育課程への位置付け、具体的な取組の検討、実施及び評価、その他本事業に関すること

【構成】 企画委員会の委員をもって充てる。

戦略1 オリンピック・パラリンピックの精神

【取組1】オリンピック・パラリンピックの理解

オリンピック・パラリンピックの歴史、オリンピック・パラリンピックの国際社会における価値、支え発展させた人物、オリ・パラ教室等（競技種目や世界記録等の理解）の設置や廊下等での参加国の国旗等の展示 など

【取組2】オリンピック・パラリンピック選手等との交流体験など

オリンピック・パラリンピック選手との交流（スーパーアクティブスクールとの関連を図る。）、スポーツトレーナー等との交流、オリンピック・パラリンピックを支える体験、ボランティア活動の推進 など

戦略2 運動・スポーツの推進、健康教育の推進

【取組3】外遊びや運動・スポーツの推進

体育学習の工夫・改善、特色ある学校体育の充実、保幼小中の体系的・継続的指導の充実、部活動の振興、体力・運動能力向上の取組の強化（学校全体での取組）、保幼小中の系統的な指導、地域等との連携によるスポーツの推進 など

【取組4】健康教育の推進

「早寝・早起き・朝ごはん」の推進、生活習慣・運動習慣の確立、食育の推進、学校・家庭・地域の連携した教育の充実、自尊感情や自己肯定感を高め主体的に生きる態度の育成、リーフレット等による意識啓発 など

戦略3 文化（国際理解教育の推進）

【取組5】国際感覚の育成

英語を中心とするコミュニケーション能力の育成、異文化理解、生活様式、礼儀・マナー、オリンピックのシンボルマーク、新国立競技場、参加国の国旗や環境・産業等の資料展示、フィンランド等の指定国の研究、留学生等との交流 など

【取組6】「おもてなし」の推進

日本や地域の特長（魅力等）の理解、日本の「おもてなし」に関する理解、おもてなしの心と態度の育成、東京都教育委員会が行う「おもてなし親善大使」等の参加や「おもてなし体験」の推進 など

戦略4 環境（ESDやバリアフリー等の推進）

【取組7】ESDの推進

継続的な発展が可能な社会づくり、地球規模の環境教育、自ら課題を発見し思考・判断して未来像を予想し計画する力の育成、ESDに関する発表会やイベント等への参加 など

【取組8】バリアフリーの推進

心のバリアフリー（道徳教育、人権教育、生活指導等の充実）、物理的環境のバリアフリー体験、ユニバーサルデザインの理解と体験、バリアフリー等に関する発表会やイベント等への参加 など

第九中学校のオリンピック・パラリンピック教育の取組と方向性(概要)

平成 28 年 11 月 20 日

足立区立第九中学校

基本的な考え方

子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となるかけがえのないレガシーを形成する（次の4つを視点とする）。

- 1 自ら目標をもって自己を肯定し、自らのベストを目指す意欲と態度
- 2 スポーツに親しみ、「知」・「徳」・「体」の調和の取れた成長
- 3 日本人としての自覚と誇りをもち、自ら学び行動できる国際感覚
- 4 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献

東京都の推進の方向性

【4つのテーマ】

「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の4つのテーマで推進する。

※ オリンピック・パラリンピックは、世界を結ぶ平和の祭典でもある。

【4つのアクション】

オリンピック・パラリンピック教育を進めるに当たり、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」の4つの視点で取り組みを深めていく。

足立区立第九中学校の戦略

戦略1 オリンピック・パラリンピックの精神

【取組1】オリンピック・パラリンピックの理解

歴史や国際社会における価値、支え発展させた人物など

【取組2】講演会や選手等との交流会の実施など

スポーツとの出会い、行き方、豊かな生活、障害者の理解など

戦略2 運動・スポーツの推進、健康教育の推進

【取組3】外遊びや運動・スポーツの推進

体育学習の工夫・改善、部活動の振興、保幼小中の連携など

【取組4】健康教育の推進

「早寝・早起き・朝ごはん」の推進、生活習慣の確立など

戦略3 文化（国際理解教育の推進）

【取組5】国際感覚の育成

英語能力の育成、異文化理解、礼儀・マナーなど

【取組6】「おもてなし」の推進

日本の魅力、おもてなしの心と態度の育成など

戦略4 環境（ESDやバリアフリー等の推進）

【取組7】ESDの推進

地球規模の考え、継続的な発展が可能な社会づくり など

【取組8】バリアフリーの推進

障害者の理解、ユニバーサルデザインの理解と体験 など

重点的に育成すべき資質と取組及び今後の方向性

資 質

ボランティア
マインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人としての
自覚と誇り

豊かな
国際感覚

本年度の取組と成果(期待を含む)

地域清掃活動、小学校への学習支援、防災運動会やフレンドリーマラソン等の社会貢献活動を行った。
生徒は、様々な方から御礼を言われて、社会貢献の重要性和自分のよりよい生き方を知った。

道德教育や人権教育の推進、ブラインドサッカー等でパラリンピアンとの交流を行った。
生徒は、障害者が強く生きていて、だれとでも同じように接することの大切さを知った。

体育学習の充実、全生徒加入の部活動、保幼小との連携、校内展示の充実などを行った。
生徒は、体力や運動・スポーツの重要性等の意識を高めた。小学校との連携による研究を開始した。

挨拶や思いやる行動を重視した指導や、授業や学校行事等における日本のよさを知る指導を行った。
生徒は、自校に誇りをもつとともに、地域や日本のよさへの理解を深めた。

英語による英語の授業、世界規模で考えた環境教育やキャリア教育、世界の国旗掲示等を行った。
生徒は、世界の動きを感じるとともに、日本のよさを知り自分の思い等を発信することを体験した。

今後の方向性

教育課程の重点に置き、一層推進するとともに、家庭や地域との連携を強化し、場や機会を創造していく。

オリンピック・パラリンピックを踏まえ、障がい者に加え高齢者などを含め、人権教育を一層推進していく。

東京都スーパーアクティブスクールを生かした取組の充実、家庭や地域への啓発を一層推進していく。

ものづくり、和食など日本の文化や日本人としての心の素晴らしさを発信できる教育を推進していく。

自ら課題を発見し、コミュニケーションを充実させ、ともに解決していくグローバル人材の育成を目指していく。